

2019年11月7日

岐阜大学腫瘍外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「クロマチン再構成因子複合体異常のもたらす乳癌、消化器癌進行メカニズムの解明」への協力をお願い

腫瘍外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004年6月～2013年12月に当科において、乳癌、胃癌、大腸癌に対して手術を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2024年3月31日

研究目的・方法：

乳癌や胃癌、大腸癌などの消化器癌に関連するといわれている ARID1A と呼ばれる遺伝子変異が癌の進行とどのように関係するかを調べる研究です。上記対象期間に岐阜大学腫瘍外科で切除された乳癌、胃癌、大腸癌で病理部に保管されている検体を用いて細胞の遺伝子変異と病状・治療効果を見る研究です。

研究に用いる試料・情報の種類：

上記対象期間に岐阜大学腫瘍外科で切除された乳癌、胃癌、大腸癌で病理部に保管されている検体を使用します。また、同じ患者さんの生存期間、再発の有無、抗癌剤・分子標的薬の使用の有無、化学療法反応性に関する診療情報をカルテから抽出して検討を行います。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科
電話番号 058 - 230 - 6235
氏名：安福至

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科
氏名：吉田和弘